

ありがとうの[🍀]
手紙^{でがみ}コンテスト

2015
最優秀作品賞
受賞作品集

株式会社ファミリーマート
<http://www.family.co.jp>

しんおちの
あしがしりて
こいせこども。

こどもたちの
未来のために...



ご報告にあたって

私たちファミリーマートは、社名にある「ファミリー」という価値観のもと、お客さまにとってより身近で、“家族のひとり”のような存在となることを目指し、快適で楽しさあふれる生活に貢献することを基本理念として掲げております。

「ありがとうの手紙コンテスト」は、このような理念に基づき、未来の担い手となるこどもたちの豊かな感性を育てることを目的として2009年より実施しております。

また、コンビニエンスストアでは初めて、オリジナル商品である「おむすび」にベルマークを貼付し、学校設備や教材などの教育環境の充実にお役立ていただくことをはじめ、実際の店舗では小学生を対象に職場体験で社会性を育む「こども店長」プログラムの提供などを通じ、全国のファミリーマートで「こども支援」に取り組んでおります。

2015年度、第7回目の本コンテストには、42,789通のご応募をいただきました。学校の授業や宿題の題材としてご活用いただいたことを、諸先生方、保護者の皆様に深く感謝すると同時に、本コンテストの社会的意義が年を重ねるにつれて高まりつつあることを感じております。

ご応募いただいたこどもたちの作品には、人と人との「つながり」を大切にしようという思いや、家族、友人、先生、地域の方々、そして毎日使うものや自然への感謝の気持ちを表した作品が多数ございました。本コンテストを通じて普段はなかなか伝えられない「ありがとう」の気持ちを手紙という形で表現し、伝えるきっかけになったことと、大変うれしく思っております。

受賞作品集は「最優秀作品賞」に選ばれた21作品の紹介を中心に構成しております。こころあたたまる手紙ひとつひとつを是非お読みいただければ幸いです。

ファミリーマートはこれからもお客さま一人ひとりの気持ちに寄り添い、「Fun & Fresh」のテーマのもと、常に楽しさや新しさを感じていただける、一番身近なコンビニエンスストアチェーンを目指してまいります。

次回もたくさんのご応募をこころよりお待ちしております。

平成28年 1月 吉日
株式会社 ファミリーマート
代表取締役社長 中山 勇



ありがとうの 手紙コンテスト2015

もくじと
実施概要

今年度7回目となる本コンテストは、夏休みの前に全国20,601校・654万児童に向けてご案内し、結果6月1日から9月30日の約4ヵ月間で、応募総数42,789通にも上るこころあたたまる作品をいただきました。甲乙つけがたい力作ぞろいの中から選ばれた、全国7つのブロックを代表する最優秀作品賞全21作品、審査員特別賞全35作品、学校・団体賞全7校・団体をご紹介します。なお、本コンテストの詳細報告は、ファミリーマートのホームページでもご紹介させていただいております。
(<http://www.family.co.jp/arigatou2015>)

- 最優秀作品賞受賞作品紹介 4
- 審査員特別賞受賞作品紹介 25
- 学校・団体賞受賞校・団体紹介 32

こども支援活動

ファミリーマートの社会貢献テーマである「こども支援」について、代表的な活動事例をご紹介します。これらの次世代を育成するさまざまな活動を通して、家族を、地域社会を、より良い将来を応援していきます。

- その他の活動 33



ありがとうの手紙コンテスト

実施概要

主催 株式会社ファミリーマート

後援 全国連合小学校長会 / 全国市町村教育委員会連合会 / 全国小学校国語教育研究会 / 全国小学校道徳教育研究会 / 全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会 / 生活科教育研究会 / 社団法人 日本家庭生活研究協会 / 株式会社 教育新聞社

応募期間 平成27年6月1日(月)～9月30日(水) **応募資格** 小学校1年生～6年生

審査 一次、二次、最終審査会と3回の審査を経て決定

最優秀作品賞 低学年部門(1・2年生) 各ブロック1名 合計7名
中学年部門(3・4年生) 各ブロック1名 合計7名
高学年部門(5・6年生) 各ブロック1名 合計7名
※全国を7ブロックに分割し、審査を実施

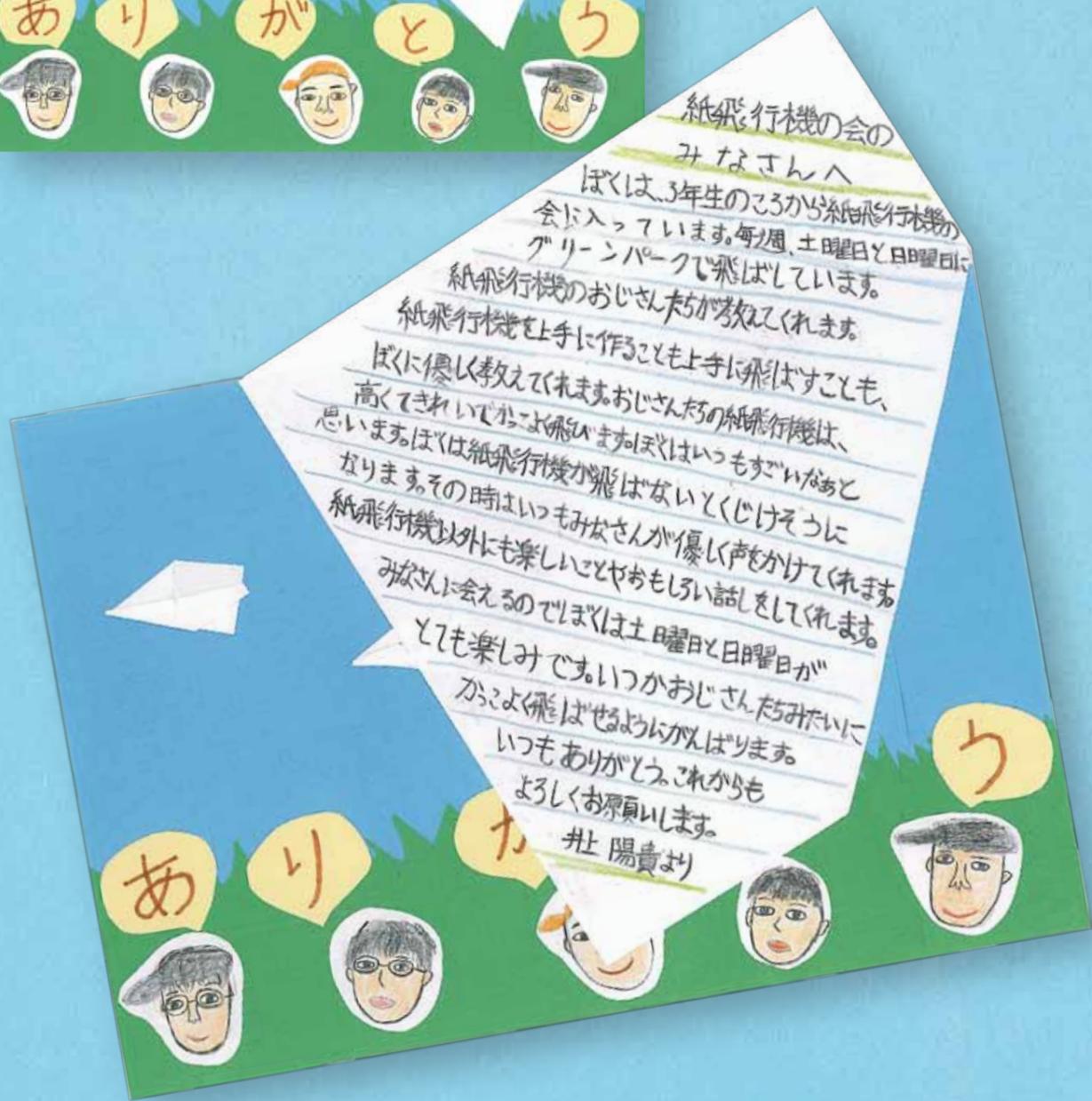
審査員特別賞 各ブロック5名 合計35名
学校・団体賞 各ブロック1校・団体 合計7校・団体

最終審査会 平成27年11月20日(金) **応募総数** 42,789通



紙飛行機を飛ばす会の
みなさんへ

あ り が と う



紙飛行機の会の
みなさんへ

ぼくは、3年生のころから紙飛行機の
会に入っています。毎週、土曜日と日曜日に
グリーンパークで飛ばしています。
紙飛行機のおじさんたちが教えてくれます。
紙飛行機を上手に作ることも上手に飛ばすことも、
よく優しく教えてくれます。おじさんたちの紙飛行機は、
高くきれいでかっこよく飛びまわります。いつもすごいなあ
と思います。ぼくは紙飛行機が飛ばないといじめられて
泣きます。その時はいつもみなさんが優しく声をかけてくれます。
紙飛行機以外にも楽しいことやおもしろい話をしてくれます。
みなさんに会えるのでぼくは土曜日と日曜日が
とても楽しみです。いつかおじさんたちみたいに
かっこよく飛ばせるようになります。
いつもありがとうございます。これからも
よろしくお願ひします。
井上 陽貴

あ り が と う

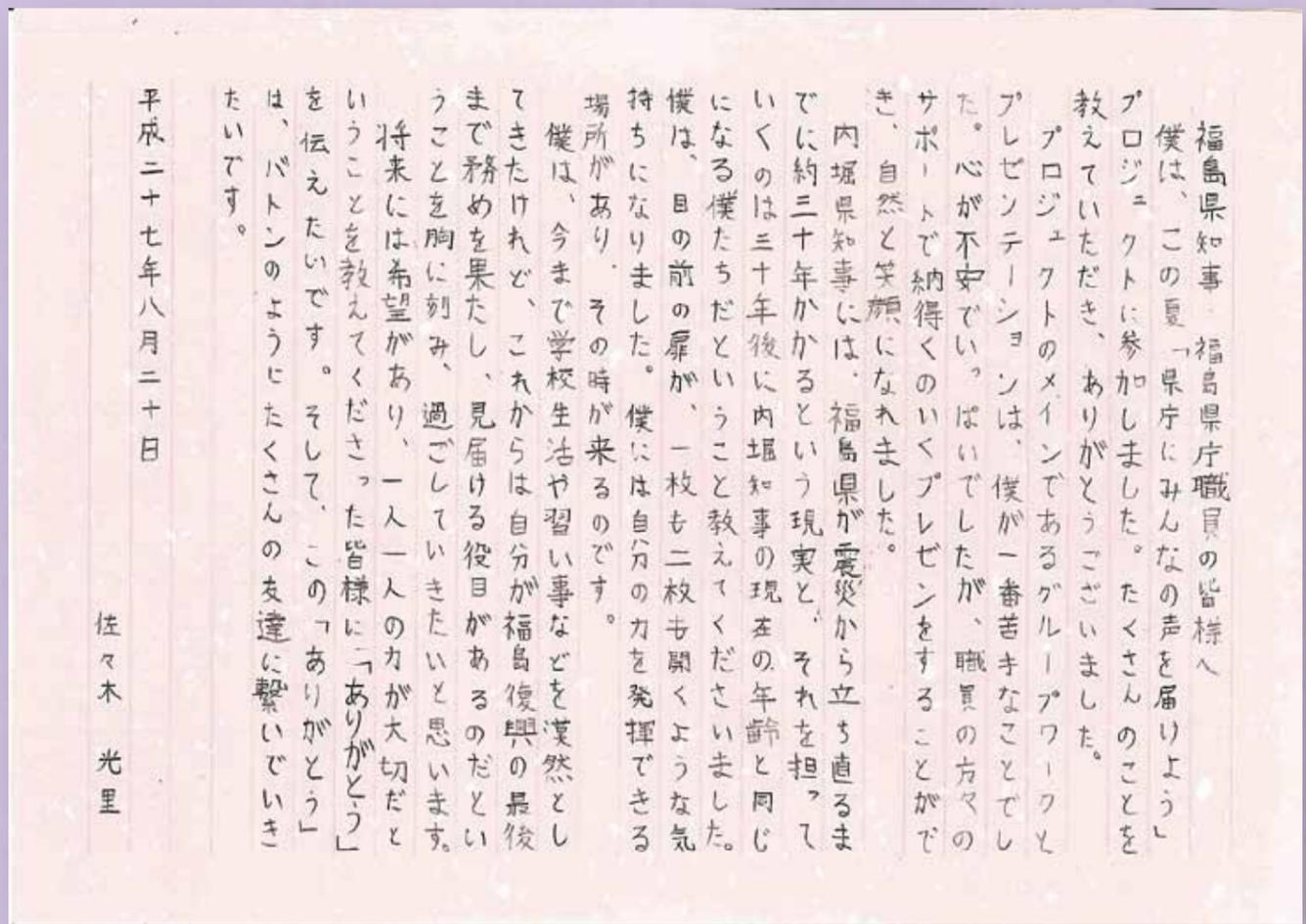


最優秀作品賞

井上 陽貴さん(4年)
音更町立下音更小学校

審査員から 地域のこどもと大人の深いつながりを感じるほほえましい手紙。テーマに合わせ、立体的な紙飛行機が添えられているなど、表現方法が非常に工夫されている。

中学年の部



福島県知事、福島県庁職員の皆様へ

僕は、この夏、県庁にみんなの声を届けようとしてプロジェクトに参加しました。たくさんの方から教えていただき、ありがとうございます。

プロジェクトのメインであるグループワークとプレゼンテーションは、僕が一番苦手なことでした。心が不安でいっぱいでしたが、職員の方々のサポートで納得のいくプレゼンをすることができました。自然と笑顔になりました。

内堀県知事には、福島県が震災から立ち直るまでに約三十年かかるという現実と、それを担っている僕たちだということを教えていただきました。僕は、目の前の扉が、一枚も二枚も開くような気持ちになりました。僕には自分の力を発揮できる場所があり、その時が来るのです。

僕は、今まで学校生活や習い事などを漠然としてきたけれど、これからは自分が福島復興の最後まで務めを果たし、見届ける役目があるのだということを胸に刻み、過ごしていきたいと思えます。将来には希望があり、一人一人の力が大切だということを知ることができた皆様に「ありがとう」を伝えたいです。そして、この「ありがとう」は、バトンのようにたくさんの方の友達に繋いでいきたいです。

平成二十七年八月二十日

佐々木 光里



最優秀作品賞

佐々木 光里さん(5年)
二本松市立小浜小学校

審査員から 30年後に知事と同じ年齢になる自分には福島復興の務めを果たし、見届ける役目があるのだという、まっすぐでさわやかな決意を感じる。表現も大変優れている。

高学年の部

おじいちゃん おばあちゃんへ

いつも、ぼくのうちへ火田でとれたやさいをたくさんおくりてありがとうございます。

ぼくはいつもたくはいびんがとどくとはいこを開けるときわくわくします！この前はこの中は夏の宝ばこでした。さつまいもへんげに太くて大きく、ピーマンはとつからしみたいに糸が長く、トマトは黄色いトマト、赤いトマトが入っていました。スーパーで見ると長いので。

夏休みおじいちゃんおばあちゃんの火田でぼくもいっしょにやさいをしゃくかきました。いつもはいこを開けた時に見るやさいがいっぱいおっていました。暑くてあせをいっぴかいてとてもつかれました。おじいちゃんたちおそのやさいをきれいにあらって新聞紙にくるんでいつもおくりてくれます。本当に大へんだごなと思えました。

おじいちゃんおばあちゃん、ぼくは春夏秋冬のやさいについて、すこしくわくなりました。これからもうちにとどきせつのお宝ばこをたのしみにはいます。

ごんしおくりてもらったやさいで、とくせいカーを又くろでせひ歌へんきて下さい。島田 智史



関東1ブロック

最優秀作品賞

しまだ さとし 島田 智史さん(2年) 川崎市立日吉小学校

審査員から 野菜の描写が具体的ですばらしい。祖父母が送ってくれた野菜が詰まった箱を「季節の宝箱」と表現するなど、みずみずしい感性を感じる。

低学年の部

ひいばあちゃんへ

ばあちゃんは94才、私は、9才、85才もはなれてるね。数字にすると、すこくはなれてるけれど、いっしょにいると気にならないうたから、ずっとばあちゃんといられると思った。私がようち園の時は、車イスに乗ってるばあちゃんの上に乗って、おばあちゃんがおいてくれたねいっしょに笑って、七つの子を歌って楽しかった。お風呂に入った時はせ中をあらってくれた。小学生になった私は、ばあちゃんの手を握って出かけたね。私がおすとあぶないよと言いながら笑ってくれた。お風呂に入った時は私がせ中をあらうと気持ちいよ、とよるこでくれた。なくなった日雨だった。お通夜と告げばも、ばあちゃん泣いてるの。心配だよ。時々七つの子を歌ったりするよ。ばあちゃんをわすれたりしないよ。いっしょにずっといられると思っていた。さよならした日は、よく分からなかった。でも、竹ゴのかき氷を見たり車イスを見たりすると、さよならしたんだなと涙が出るよ。ずっといっしょにいられると思っていた。私は、ずっとは、ないのだと知ったよ。だから、毎日、大切なんだと思った。

また会いたいよ。ばあちゃんに。いっはい、いっはいありがとう。

関 美成より

関東1ブロック

最優秀作品賞

せき みなり 関 美成さん(4年) 川崎市立宮前小学校

審査員から 一緒に「七つの子」を歌ったことなど、曾祖母と過ごした日々を臨場感ある表現で大変うまくまとめている。曾祖母の死を通して考えたことに胸をうつ。

中学年の部

立石図書館に関わる 全ての職員さんへ

ぼくはよく、立石図書館をよく利用します。ぼくは、読書は好きなので、家から近くにある、本がたくさんあり、ごみがあまり落ちていないきれいな図書館は、まるで天国のような場所です。ぼくが館内に入って最初に会う職員さんは、総合案内のカウンターの職員さんです。この方々にはぼくが館内に傘を落としたときにお世話になりました。また、この方々は、ぼくが図書館を出入りするときに必ずあいさつをしてくれ、すかさず、ぼくは気持ちよく図書館を利用できます。図書館司書の方にもお世話になりました。例えば、ぼくの探している本が見つからないときに、探してくれたり、リクエストした本を書庫から出したりしてくれました。その中でも最も心に残ったのが、ぼくが誤って模型雑誌のページを破ってしまったときに、優しく冷静に対応してくれたことです。ぼくは、ページを破ってしまったことを報告するまで、どんなにしかられるか不安でしたが、司書の方のおかげで、不安も一気に解けました。ぼくが安心して図書館に行けるのは、図書館に関わる全ての職員さんのおかげです。本当にありがとうございます。これからもがんばって下さい。



関東
1
ブロック

最優秀作品賞

佐藤 千展さん(6年)
葛飾区立本田小学校

審査員から 図書館に関わる一人ひとりの職員の方のことをよく見て、自分にしてもらったことをしっかり受け止めているのがよい。図書館の絵もとてもかわいらしい。

高学年の部

せんたくきさんへ

せんたくきさん、こんにちは。私は山本歩実といいます。あなたのお家でいっしょにくらしているんだよ。

私ね、いつもは学校に行っちゃうから、わからなかったんだ。夏休みの間、せんたく機からガラガラ、ゴトゴト音がして、何の音かなと思ったら、あなたの音だったのね。朝から夜までずっとおしごとしていたんだね。

うちのお母さんは、何回もせんたくするんだ。パジャマや下着、沢山の洋服、お手ぶきタオルや




バスタオル。夜中にも汗をかくから、あらってさばりさせようね。」と

シーツやタオルケットまで、毎日あらっちゃうんだ。たまに、せんたく機おしに、大きな布が干してあって、おしに思っていたらカーテンだったのね。その日は、おへやいっばいに、お花のかおりがしていたよ。

この間、お母さんが言っていたよ。昔は、せんたくきかなかったんだって。私の小さいころは、こそう式



ていてね、せんたくするところと、せんたく物の水をしぼるところの二つにわかれていて、手間がかかったのよ。

「今は全部、せんたくきがやってくれるから助かるわよね。」って。

私たちがよく、いつもせいけんなおようぶをきて、お風呂の夕おしをいいて、さわやかなおふとんで、ねむれるのは、みんなみんな、あなたのおかげだよ。今までぜんぜん気づかなかったよ。

せんたくきさん、いつもありがとう。

私もお母さんに使い方をおそわって、あなたといっしょにおしごとしてみるね。

これからもよろしくね、せんたくきさん



関東
2
ブロック

最優秀作品賞

山本 歩実さん(2年)
野田市立南部小学校

審査員から 洗濯機に「ありがとう」を伝えたいという気持ちが、こどもらしくて愛らしい。母から聞いた洗濯機の歴史の話なども挿入されており、描写がとても豊か。

低学年の部


 かかは、はなにとってかけがえのないそんざいだよ。
 いまは、空の上にいるけど、はなの心の中では、
 まだいえににいると思ってた。いま、かかきょうの「は
 んは？」ときいてしまうことがあるんだよ。
 いつもいつもいっしょにいたからそんざいが大き
 すぎて、みんな今でもめになみだをうかばせて
 いるんだよ。でもみんながないたら、
 かかかなくなるでしょだからはなもたくさんの人
 がさびしくなるけどみんなをかわるためって
 思ってると思っよ。かかは、ぶらぶらにうらみをも
 てもいいくらいぶらぶらはかかのきょうでさだたと
 思っよ。かかがいなくなっから毎日
 になっけどがまんしてあかるい毎日にしよう
 がんばる人もいるんだよ。さびしいけどあり
 がとういつもいっしょにいてくれて、がいものも
 プールも、べんきょうも、本当にありがとう。
 はながんばるねかかがいなくても、べんき
 うや、いろいろおてつだいするね。この手が
 みとどくといいな。てんごくへ

きくち はなより



最優秀作品賞

きくち
菊地 はなさん (3年)
 つくば市立竹園西小学校

審査員から  亡くなった母の思い出と、現在の自分の思いを素直に表現している。
 寂しさを抱えながら、それでも前を向いて歩いていこうという力強さを感じる。

中学年の部


 ぼくの中の **ノーベル賞** ハゲキへ
 ハゲキ! 元気になっていますか? 広島の学校 ぼく?
 ぼくは元気だよ。今度の先生も優しくていい先生だよ。(あた名はインシー!)

ぼくとハゲキとの出会いは、昨年、4年生の始業式。
 楽しそうにマジックをしてくれた先生がいた。あの先生が担任だったらいいのにな。ソ
 ろそろハゲキだったんだ! 願いはかなった!
 それからぼくは毎日学校へ行くのが楽しみになった。

Ar H2O
 ハゲキの魅力は数えきれないほどあるけど、一番はやっぱり勉強の楽しさを
 教えてくれたこと!! まさか勉強がこんなに楽しいなって!
 なんといっても「わくわく(理科仮言説実験)」。今まで一番楽しくて、一番ワクワクする
 授業だよ! 空気と水、液体窒素、虫めがねの実験... 原子の話も楽しかったな~

Ne
 離任式の日、代表で花束を渡せて本当に嬉しかったよ。
 剣道が「ん」は「ん」って言ってくれたよね。あの言葉は今もぼくを応援し続けてくれる。
 レギュラー落ちした時もあきらめずに頑張れたのは学校が楽しかったからだと思う。
 う。おかげで今はまた選手として頑張ってるよ。

CO2 N
 「たのしく生きるためにたのしく学ぶ」。ハゲキからのメッセージ。これ又世界中を楽
 さで溢れさせる言葉だと思っんだ。だからハゲキはぼくの中の「ノーベル賞」!!
 ハゲキがいたから今のぼくがあると思う。本当にありがとう!!
 ぼくもハゲキみたいに目をキラキラさせて生きる大人になるよ!

He
 元4年1組(早稲橋クラス) 奏太良月



最優秀作品賞

いりえ そうたろう
入江 奏太朗さん (5年)
 浦安市立日の出南小学校

審査員から  元担任の先生への感謝の気持ちを、ユニークな文章で表現している。
 文章からもイラストからも、元担任の先生へのまっすぐな愛情が伝わってくる。

高学年の部



パパへ

この前プールにつれていってくれてありがとう!
 楽しかったよ。
 日曜日も夕方にかえってきてくれてありがとう。
 よるごはんもいっしょに食べてくれてありがとう。
 今は、おしごととおくの町でくらししてるから、
 なのは、さみしいよ。
 パパは、さみしくないの?
 ごはんも、一人でさみしくないの?
 お風呂も、一人でさみしくないの?
 ねるときも、一人でさみしくないの?
 もし、なのはが、一人だったら、さみしくてないちゃうよ。
 一人でくらししてる/パパは、すごいと思うよ。
 パパは、一人ですごしたり、おしごとをがんばってるから、
 なのはもチアダンスや、しゅう字や、べんきょうや、ママの
 お手伝いや、ほのみのおせわをがんばってるよ。
 /パパも、一人でがんばってるからなのはもいっしょに
 がんばりたいな。
 9月のチアダンスのはっぴー会せうたい見にきてね。
 こんどかえってきたときいっしょにアイスかいに行ったり
 かたぐるましたりしてね!

いつもありがとう!
 大好きだよ。

なのはより

中部
東海
ブロック

最優秀作品賞

ひがし なのは
東 愛乃春さん(2年)
 豊田市立若林東小学校

審査員から ☘ 仕事で単身赴任している父の気持ちを想像しているのがすばらしい。
 父のがんばりに負けないよ、自分もがんばろうという気持ちがさすがしい。

低学年の部



ピカピカおばさんへ

ピカピカおばさんへ
 おばさんはわたしのことを知っています。なくなく通学路の心もピカピカには
 何か?わたしはおばさんの名前を知りません。くれるんですよ。わたしもおばさんみたいに
 てもいつも通学路の草むしり、ゴミや落葉 自分の私やとくにかんないなく、自分からす
 をはいてくれるから、「ピカピカおばさん」と名前 してみんなのためになる事をやりたいです。
 をつけました。登下校の時とてもきれいで気持ち 、「ピカピカおばさんありがとう」
 ちがいいよ」と思っています。それに朝は こんどおばさんを見かけたら、ちやくせつかん
 「行ってらっしゃい!帰りはおかえり!」とかならず声 しの気持ちをつたえたいです。
 かけられますね。おばさん、気づいていますか?
 おそうじをして、通学路をきれいしているだけ

田中 さきより

中部
東海
ブロック

最優秀作品賞

たなか さき
田中 咲妃さん(3年)
 湖西市立鷺津小学校

審査員から ☘ 「ピカピカおばさん」というネーミングがよい。「通学路をきれいにしているだけでなく、
 そこを通るみんなの心もピカピカにしてくれている」という表現が秀逸。

中学年の部

～ 私を育てる人や物へ～

塚本 凜泉

私は、今年12歳。

もうママと同じ洋服が着れる程、大きくなった。

今日まで当たり前に生きてきたけど、何だかんだ色々あった。

きっと

その色々全部が「ありがとう」の要素が一杯詰まってる

いたんだと思う。

12年前、私をとり上げた手



くいん坊のお腹を研いでくれるごはん



泣く時「どうしたん？」と肩を叩いてくれる友達



病気の時、カモフラージュする薬

私たちがいる

山の緑、空の青



暑い日に
風を運ぶ
扇風機



当たり前にはまに居る家族

ありがとうは、自然の中にも物にも、物を生み作る人にも存在するのだらう...

私は、この12年の間、ずっと何かに感謝して生きてきたと思うので、今言いたい。私を育てる全ての「ありがとう」に感謝をこめて、みんなみんな「ありがとう」

中部
東海
ブロック

最優秀作品賞

塚本 凜泉さん(6年)
かほく市立高松小学校

審査員から

自分が育ててくれたすべてに感謝を伝えるというのは、これまでにないユニークな発想。文章とイラストをうまく組み合わせることで、表現豊かな手紙になっている。

高学年の部

スズ虫へ

いつもリンリンうるさいけど、いっぱい、ごはんをたべてくれてありがとう。みんな元気でいてくれて、とてもうれしいです。いちばん元気なのが、リンすけです。リンすけは、リンリン言っても元気だなと思っていつも見ていました。ぼくがさあたらみんなすばやくにけるのがはやいから、ぼくもスズ虫のようにはやくなりたいです。スズ虫を一つきしなせちゃったから、これからがんばって、みんなをきしなせないようにまたてます。(さか本 しょうすけより)



関西

ブロック

最優秀作品賞

阪本 龍翼さん(2年)
京都市立太秦小学校

審査員から

自分が育てているスズ虫への愛情がほほえましい文章で表現されている。スズ虫を一匹死なせてしまったときの心の痛みと命の大切さが伝わってくる。

低学年の部

お兄ちゃんへ

お兄ちゃんに生きていてほしかったな。
 お兄ちゃんがいたら、今よりずっとにぎやかで楽しいだろうな。
 自転車の練習につきあってくれたかな。勉強を教えてくれたかな。
 一緒に花火を見て、一緒においしいものを食べたかったな。
 お姉ちゃんとけんかしたら私の味方になってくれるかな。
 それとも、二人で私のことをいじめたかな。
 おやつが半分じゃなくて、言になってしまうかな。
 それでも、お兄ちゃんにいてほしかったな。
 私が友だちの悪口を言ってしまったとき、お兄ちゃんはいつも私の
 ことを見守ってくれているとお父さんが教えてくれたよ。
 私がうれしいときは一緒に喜んでくれて私が悪いことをしたときは
 悲しんでいると教えてくれたよ。
 だから、お兄ちゃんが悲しまないようにしないといけないね。
 今までいつも見守ってくれてありがとう。
 これからもずっと見守っていてね。

彩月



関西

ブロック

最優秀作品賞

こじま さつき
小嶋 彩月さん(3年)
 守山市立小津小学校

審査員から ☘ 亡くなった兄への思いを、独自の視点と表現で綴っている。観音開きの表面に兄への祈りを込めたイラストがあり、開けると手紙になっている工夫もすばらしい。

中学年の部



ランドセルへ
 もうすぐ小学校を卒業する私
 共に過ごしたランドセル
 もう6年もいっしょにいたんだね!!
 お気に入りのキャメル色のランドセル。とどいた時、うれしくて、何度も背負った

そういえば、入学したてのころ、お母さんが登校する私を見て、ランドセルが歩いてるみたいと言って、笑ってたな。
 つい最近、は、「ランドセルこんな小さかった、け!?!」と言い出して、またお母さん笑ってた(笑)「それだけ成長したんやで!!」と私が言ったら「そうやんね、う、うれしいようなちょっとさみしいな」と言ったお母さんの言葉を聞いて私もなんだかしみじみしてしまっただ。
 めずらしくランドセルをじーとながめてた。ふとランドセルのキズを見つけたそれで思い出した!! 1年生のころよくいっしょに帰った友達のこと!! よくいっしょに遊んで、今思えばしょうもないことでめっちゃ笑ってたな。あの、そのキズ、1年生の時の帰り道の出来事だったな。
 大したキズじゃなかったけど、その時はまだ買ったばかりの新しいランドセルキズついちゃったから、ちょっとさみしかったけど...「はい、ごめんささって言った、あの子の言い方がおもしろくて、笑ってしまったな(笑)今のキズを見ると、あのころ思い出して笑えてくる。すごくすごくなつかしい。あの子も覚えてるかなあ!?

今はあたり前に背負ってるランドセル。もうすぐおわかれなんだね。私が小学校を卒業する時かあ... そう考えるとさみしいな。今までありがとう。でも、卒業まであと半年あるし、いっしょにもっとたくさん思い出作ろうね

山崎小学校6年 森川 倫

りんより

関西

ブロック

最優秀作品賞

もりかわ りん
森川 倫さん(6年)
 岩出市立山崎小学校

審査員から ☘ 6年間一緒に学校へ通ったランドセルへ感謝を伝える手紙。ランドセルの傷を見つけたのを機に、1年生のころの思い出を辿るという構成が非常に優れている。

高学年の部

ありがとう お父さん

お父さん、いつも夜中を過ぎて、帰って来ることもあるけど、家族のために、一生懸命働いてくれてありがとう!!そしておつかれ様♡仕事服も汚れて、暑い中、日焼けをして帰って来るお父さんを見ると、私や妹のしょう来や、家のために、頑張ってくれているんだと実感するよ。また、疲れている中、休みの日には、色々な所へ連れて行ってくれてありがとう。私はお父さんと行く、お出かけが大好きだよ!!また、色々な所に連れて行ってね。でもたまには、ゆっくり休むことも大切だから、しっかり休養を取ってね。お父さんは、サーフもサッカーもしてるから、無理せず、自分の体を一番に思って、病気もない元気なお父さんでいてね!!いつも色々なことで困らせているし、これからもたくさんメイワクをかけると思うけど、成長をしっかりと見守っていてね♡

私は家族を支える柱のようなお父さんが

大好きだよ♡

これからも私の大好きなお父さんでいてね。😊

私達家族のバはいつにつながっているから、みんなで

これからも楽しく笑い合える家族でいよーね! お父さん

いつもありがとう!

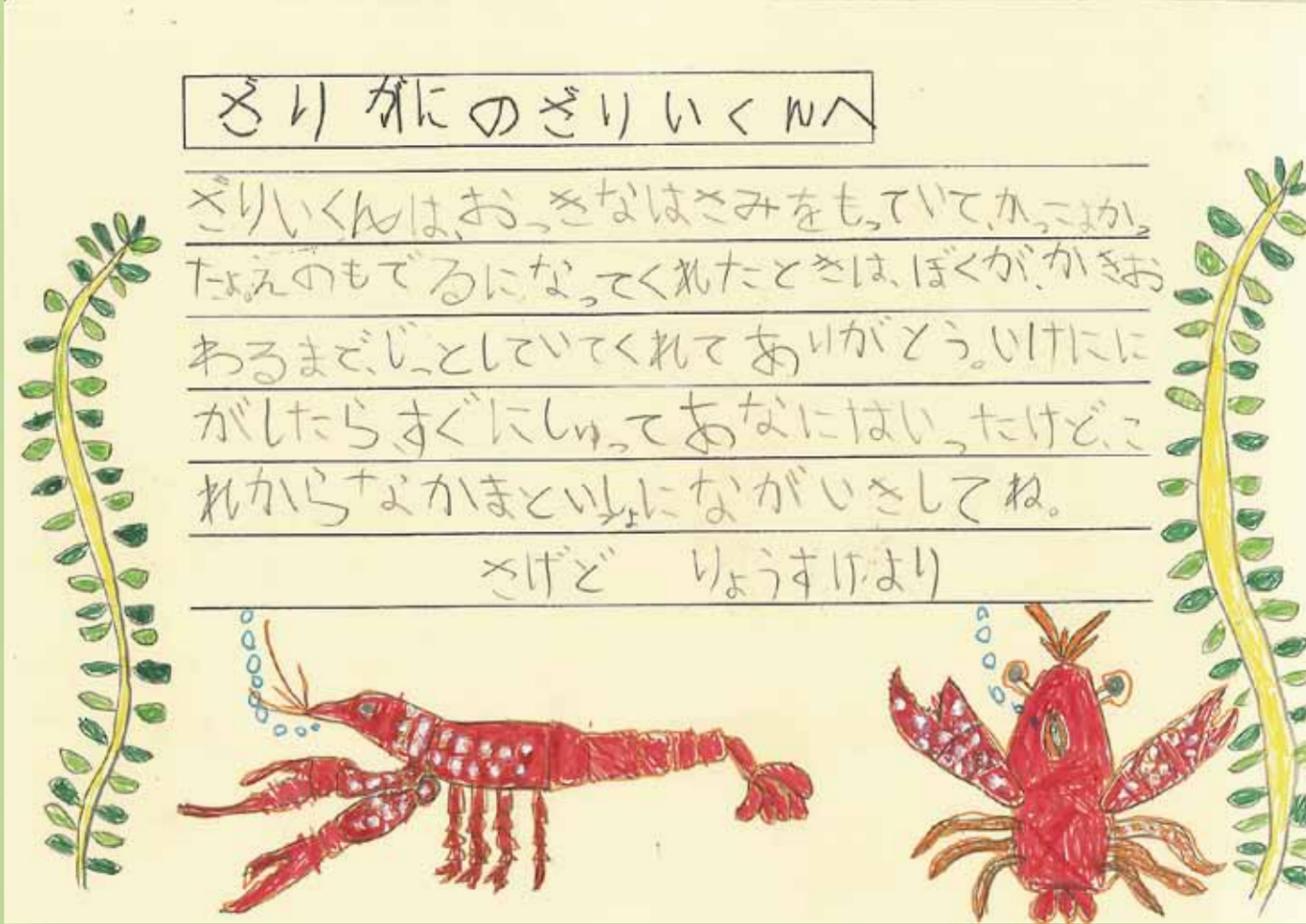


最優秀作品賞

なかむら あいり
中村 愛莉さん(6年)
石井町立藍畑小学校

審査員から 家族のために一生懸命働く父へのこまやかな思いやりにあふれ、仲のよい家族の様子が目に浮かぶ。「家族を支える柱のようなお父さん」という表現が素晴らしい。

高学年の部



ざりがにのざりいくんへ

ざりいくんは、おきなほさみをもっていて、かまぼこ、たけのこもでるになってくれたときは、ぼくがかまぼこあるまでじとしていてくれてありがとう。いけにいがしたらすぐにいってあなたにはいってけど、これからよかまといふにながいさしてね。

さげど りょうすけより

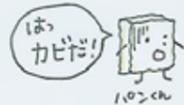


最優秀作品賞

さげど りょうすけ
下戸 良佑さん(1年)
湧水町立轟小学校

審査員から ざりがにへの思いが、ユニークな文章とイラストでよく表現されている。しっかりと観察して描いたであろう、リアルなざりがにのイラストに感動を感じる。

低学年の部



カビくんへ



ぼくは今年きみのけんきゅうをしたよ。なぜかという、今年雨が多くて、お母さんがこまっていたから、きみの弱点を見つけて、お母さんをたすけてあげようと思ったんだ。

けんきゅうをしてみてもいろいろ分かったよ。きみがジメジメした所が好きで、あたたかい所が好きな事。おしおやさとう、梅ぼし、おすわさびがきれいという事。そして、きみのせいで、おなかがいたくなったり、びょう気になったりすることもある、事。だから、実けんてでどんどんふえていくカビくんを見て、けんきゅうするのが、ちょっとこわくもなつたよ。

でも、本で調べたら、いろいろな事が分かったんだ。きみは、ぼくたちと同じように、いきをしたり、えいようをとって生きているんだってね。それにぼくの大好きなチーズやヨーグルトも作ってくれているんだね。なとうやおみそも、きみたちのおかげだったなんてすごいね！

それに一番びっくりしたのが、きみたちは地きゅうのそうじやさんなんだって事。きみたちがいないとこの地きゅうはしがいやごみだらけでたいへんな事になってしまうんだね。

見た目は気持ちわるいし、まだ好きにはなれないけど、でも、きみはぼくの仲間で、ぼくたちの生活にとってもやく立ってくれて、いたんだね。本当にありがとう。そしてこれからもよろしくね。



下戸 悠太郎より

九州
沖縄
ブロック

最優秀作品賞

さげど ゆうたろう
下戸 悠太郎さん(3年)
湧水町立轟小学校

審査員から 迷惑がられるカビの有用性に着目し、感謝するという視点が非常にユニーク。構成や文章はもちろん、イラスト、観察力など、いずれも素晴らしい。

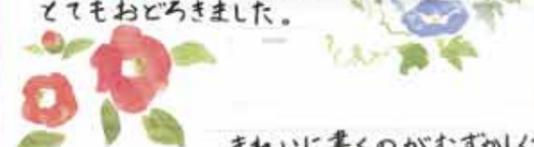
中学年の部

梅花先生へ

梅花先生、いつも書道を教えてくれて、ありがとうございます。私が書道を始めたとき、かけをおぼえていますか？

それは、学校の梅花先生の放課後教室です。梅花先生は、その時に私の字を見て、「書道教室に入らない？」と声をかけてくれました。そして、お母さんと見学に行きました。書道教室は墨のいいにおいがしました。

みんなが書いているのは、放課後教室とはちがって、とても迫力があって、「やってみよう絶対入るんだ！」と思いました。入ってみると、みんな上手で、とてもおどろきました。



きれいに書くのがむずかしくて、インチキした事もありました。

ごめんなさい。でも今では、梅花先生のおかげで、きれいに書けるようになりました。自分の身長ぐらいの長さのある紙に大きな字が書けるようになりました。

あの時、さめてくれたこと、大好きな書道に出会わせてくれたこと、本当に感謝しています。

今年も夏の課題をかんばります。梅花先生、これからも、ビシビシ教えてください！



大城 凧

九州
沖縄
ブロック

最優秀作品賞

おおしろ なぎ
大城 凧さん(6年)
那覇市立高良小学校

審査員から 書道の先生との出会いから今の気持ちまでが丁寧に綴られている。書道の先生へ送る手紙ということで、掛軸の形にしたアイデアも非常に素晴らしい。

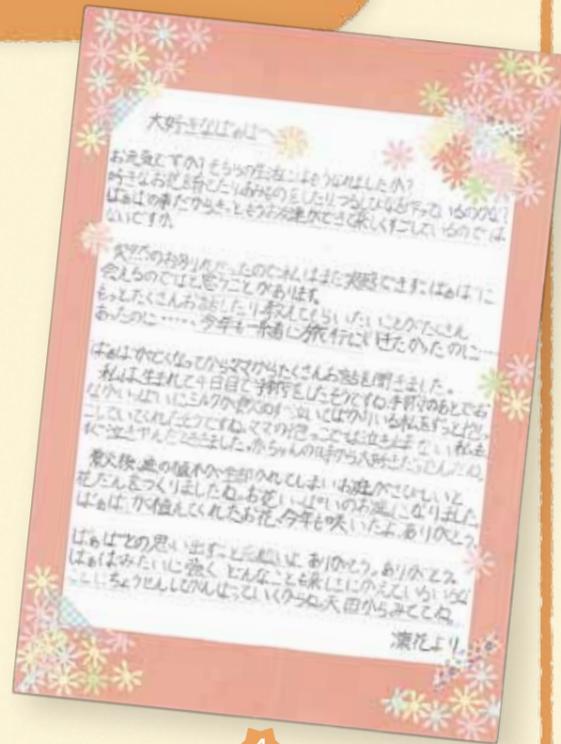
高学年の部

審査員特別賞 北海道・東北ブロック

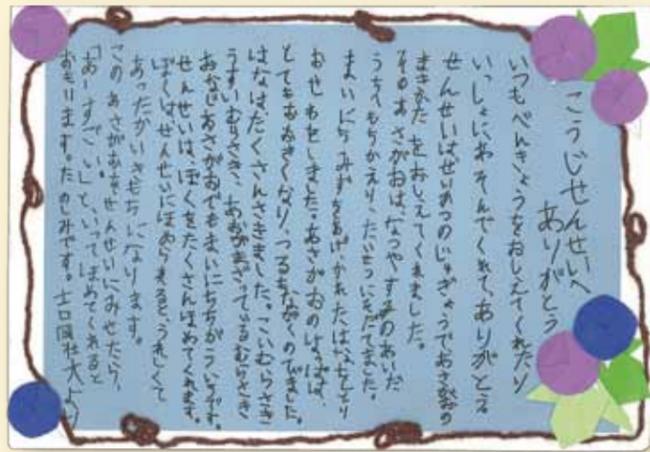
審査員特別賞 関東1ブロック



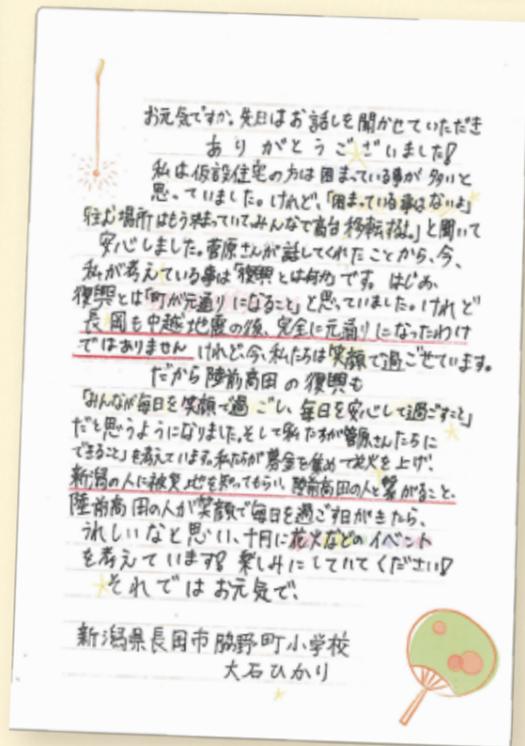
1



4



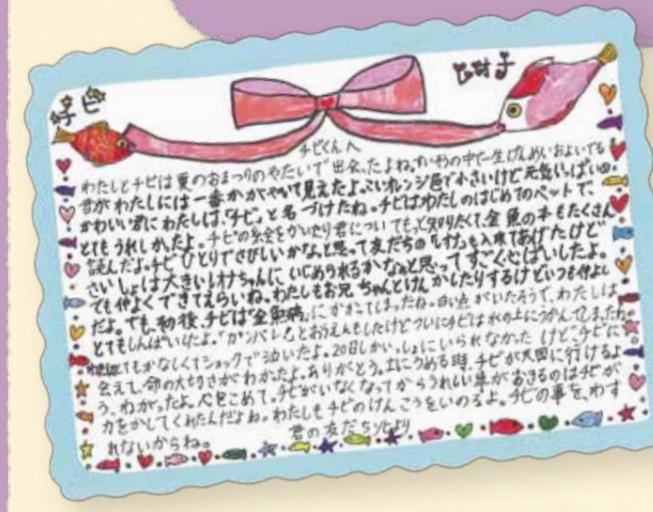
2



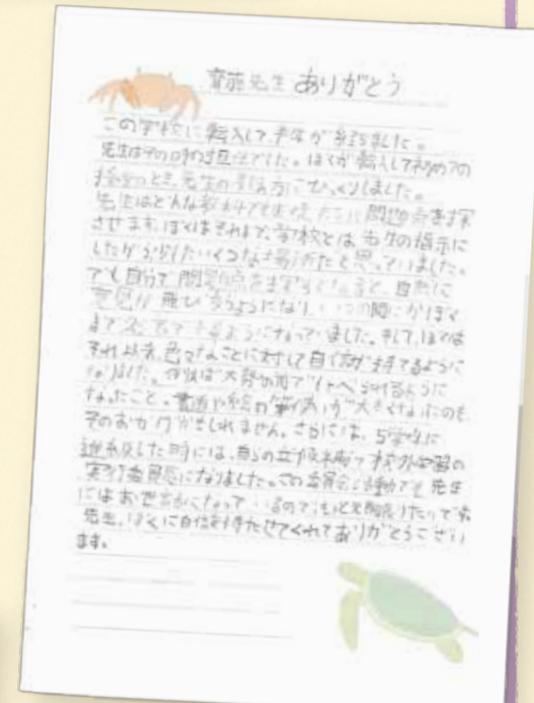
5



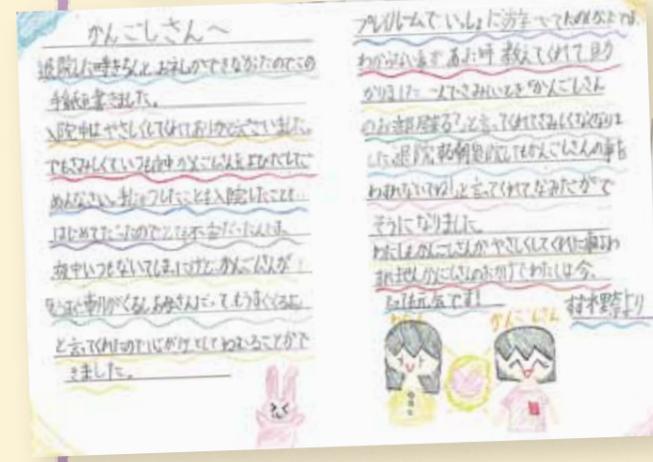
3



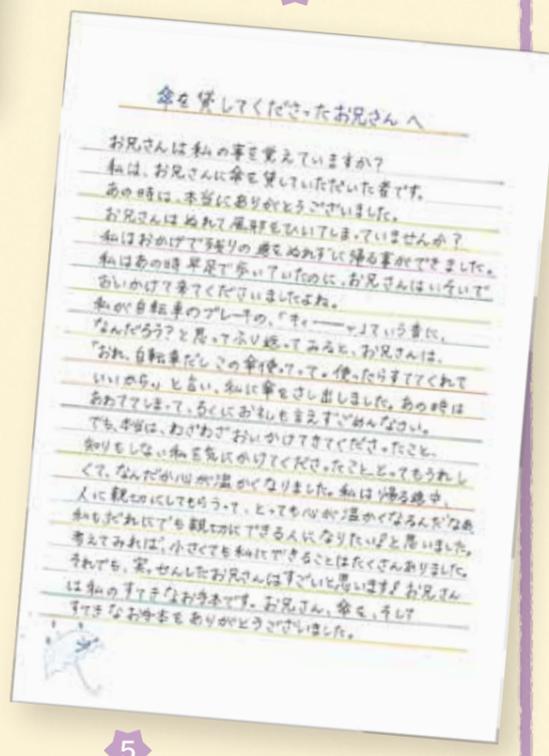
1



4



2



5



3

1 下井田 侑さん(1年)
南部町立福田小学校

2 吉岡 壮大さん(1年)
田村市立船引小学校

3 及川 那月さん(4年)
八戸市立明治小学校

4 佐藤 凜花さん(4年)
石巻市立大街道小学校

5 大石 ひかりさん(6年)
長岡市立脇野町小学校

1 李 昭憲さん(2年)
川崎市立上丸子小学校

2 鈴木 里奈さん(3年)
横浜市立今宿小学校

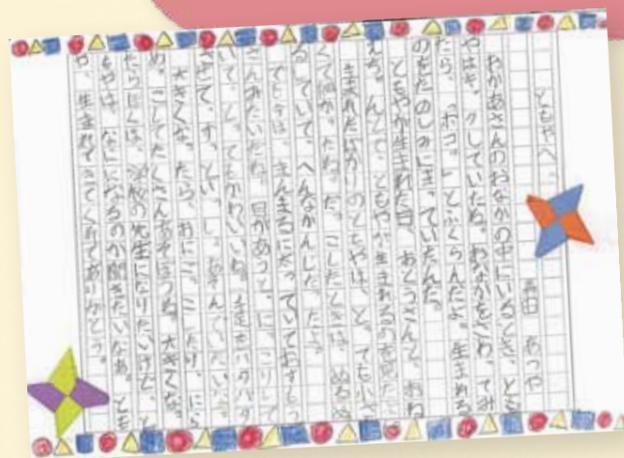
3 柳川 奈瑠さん(4年)
横浜市立岸谷小学校

4 石川 民さん(5年)
相模原市立谷口台小学校

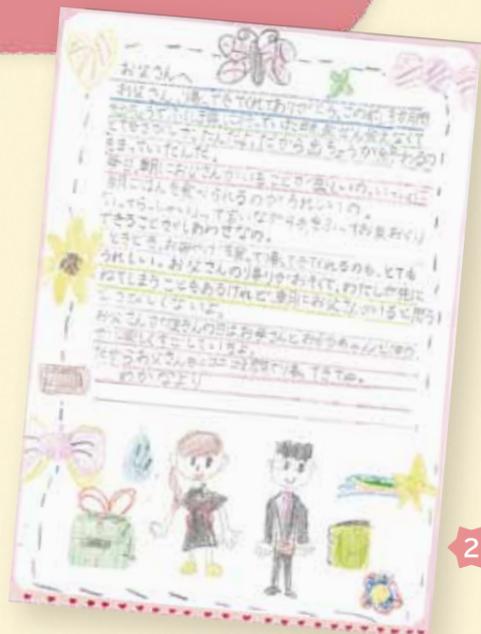
5 新 采女さん(6年)
東洋英和女学院小学部

審査員特別賞 関東2ブロック

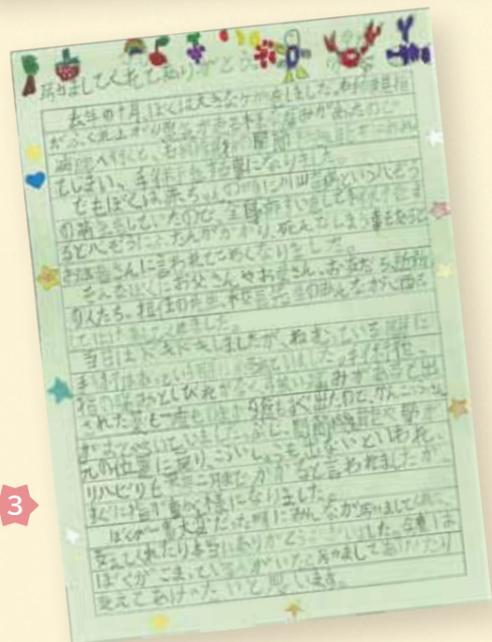
審査員特別賞 中部・東海ブロック



1



2



3



4



5

1 森田 敦也さん(2年)
春日部市立粕壁小学校

2 八木 和奏さん(3年)
吉岡町立駒寄小学校

3 坂本 秀彦さん(3年)
流山市立長崎小学校

4 進藤 璃莉亜さん(3年)
千葉市立扇田小学校

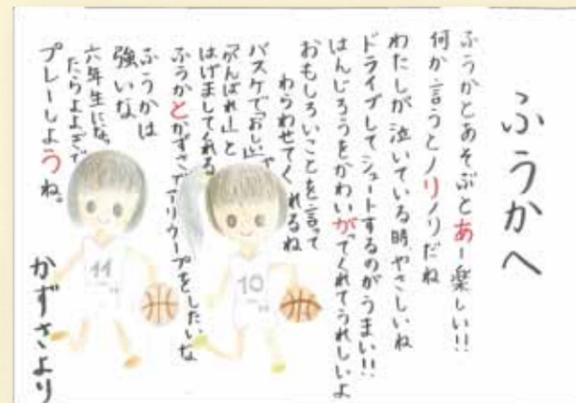
5 高田 粹さん(6年)
さいたま市立谷田小学校



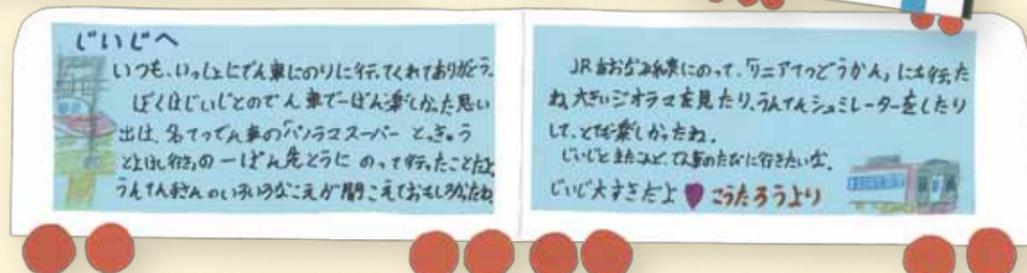
1



2



3



4



5

1 櫻井 絢芽さん(1年)
尾張旭市立旭丘小学校

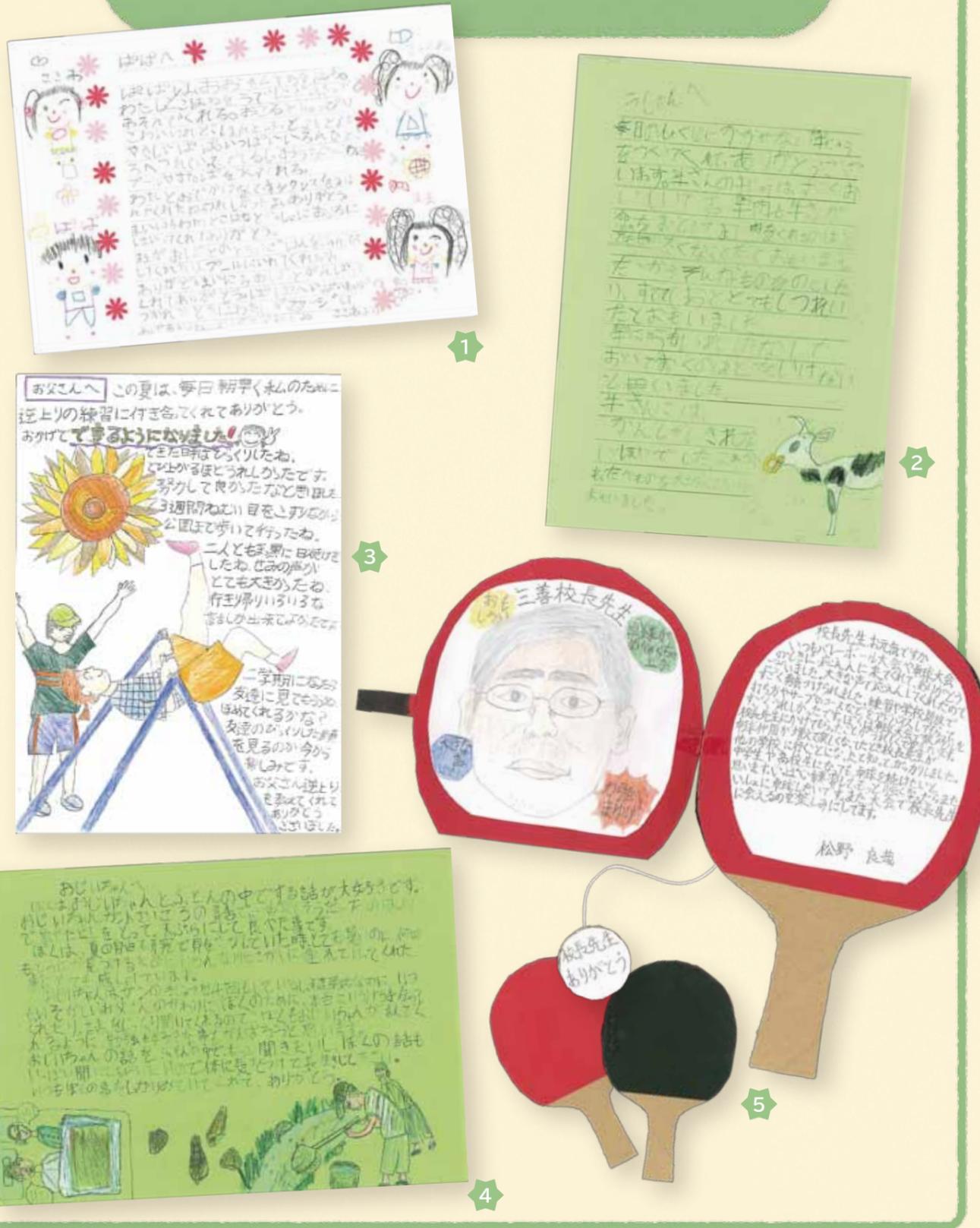
2 天野 晃太郎さん(2年)
安城市立桜井小学校

3 島田 和紗さん(4年)
永平寺町立御陵小学校

4 佐久間 希和さん(5年)
大垣市立中川小学校

5 鈴木 陽菜さん(6年)
浜松市立和地小学校

審査員特別賞 関西ブロック



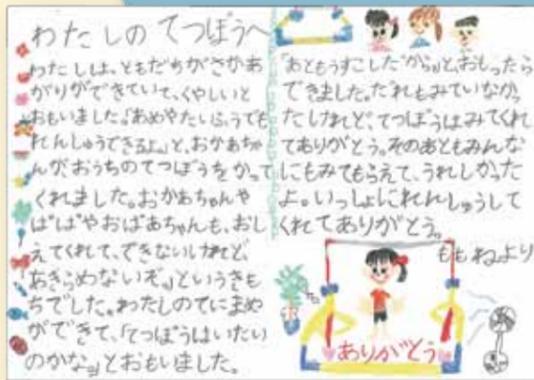
- 1** **藤森 心杏さん** (1年)
高砂市立伊保南小学校
- 2** **塚田 智之さん** (2年)
京都市立太秦小学校
- 3** **高尾 奈佑さん** (3年)
大津市立逢坂小学校
- 4** **宮島 啓輔さん** (4年)
大阪市立南田辺小学校
- 5** **松野 良哉さん** (6年)
神戸市立福池小学校

審査員特別賞 中国・四国ブロック



- 1** **矢田 泉実さん** (2年)
出雲市立北陽小学校
- 2** **吾郷 心海さん** (2年)
出雲市立今市小学校
- 3** **箕浦 怜史さん** (3年)
岡山市立浦安小学校
- 4** **上野 光さん** (6年)
府中町立府中中小学校
- 5** **田中 美伶さん** (6年)
防府市立玉祖小学校

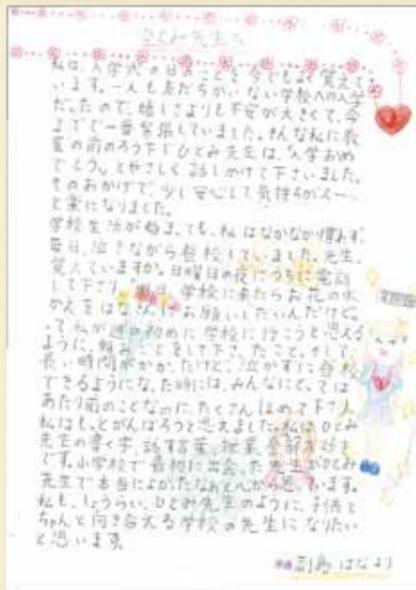
審査員特別賞 九州・沖縄ブロック



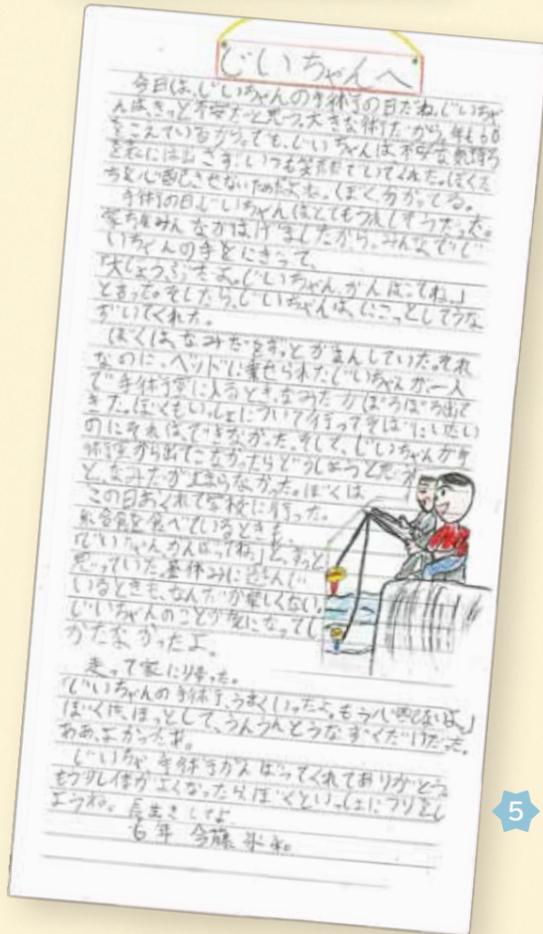
1



4



2



5



3

- 1** 日高 李音さん (1年)
西之表市立榕城小学校
- 2** 副島 はなさん (5年)
諫早市立小野小学校
- 3** 西田 望愛さん (6年)
霧島市立青葉小学校
- 4** 豊田 理恵さん (6年)
鹿児島市立伊敷台小学校
- 5** 今藤 永和さん (6年)
薩摩川内市立大馬越小学校

学校・団体賞

応募していただいた全1,996校・団体から選ばれた7校・団体です。受賞した学校から校長先生のメッセージが届きました。

北海道・東北ブロック

福島県 福島市立 野田小学校

校長先生のコメント 「おはようございます」6年生の朝のあいさつ運動から一日が始まります。本校では思いやりにあふれたあいさつのある学校にするために全校生で取り組んでいます。挨拶の輪が地域全体にも広がり始めました。学校・団体賞を励みに感謝の気持ちを忘れずに笑顔にあふれた学校にしていきたいと思っています。ありがとうございました。

関東 1 ブロック

神奈川県 川崎市立 東高津小学校

校長先生のコメント 本校では、友達同士の助け合い、家族からの応援、学校外の方の学習協力など人と関わる機会を大切にしています。そんな中、自然と子どもたちから感謝の気持ちを届けたいという思いが出てきています。これからも、子どもが素直に思いを表現できるようにしていきたいと思っています。

関東 2 ブロック

埼玉県 川越市立 南古谷小学校

校長先生のコメント 今回で3回目の学校・団体賞の受賞のお知らせをいただき、児童、職員ともにたいへん喜んでおります。本校では、毎月30日を「あったか言葉の日」としています。その中で最も多く交わされる言葉が「ありがとう」です。これからも言葉を大切にして、子どもたちの豊かで潤いのある心を育んでまいります。

中部・東海ブロック

愛知県 岡崎市立 井田小学校

校長先生のコメント 本校では、「ふるさと井田とともに歩む学校づくり」に取り組んでいます。児童の手紙には、いつも見守ってくださる保護者や地域の方への感謝の思いや、ともに地域に学ぶ合う友達への「ありがとう」を表現したものが多く見られました。今回の受賞を励みに、今後も「ありがとう」の心を大切にすることができる「ふるさと学習」に、まい進していきたいと思っております。ありがとうございました。

関西ブロック

京都府 京都市立 太秦小学校

校長先生のコメント 2年連続の受賞となり、たいへん光栄に感じております。本校は、「自分も友達も大切に、笑顔あふれる学校」を目指しています。そこで、家族や友達や自分を見守ってくださる全ての方々に「ありがとう」の感謝の心を忘れることなく、笑顔いっぱい学校・地域にしていきたいと思っております。

中国・四国ブロック

広島県 東広島市立 川上小学校

校長先生のコメント 学校・団体賞、ありがとうございました。川上小学校では、ありがとう運動に取り組んでいます。日頃は直接なかなか伝えにくい感謝の気持ちを手紙に書くことで、優しい気持ちを育み、心の絆を深めていきたい、「ありがとうの手紙」を全校児童が書きました。このように、学校・団体賞をいただけたことは、児童の自己肯定感が高まる、うれしいことです。ありがとうございました。

九州・沖縄ブロック

福岡県 朝倉市立 甘木小学校

校長先生のコメント 「ありがとうの手紙コンテスト」の学校・団体賞をいただき感謝申し上げます。子どもたちが体験した「ありがとう」をもとに応募しました。大きな「ありがとう」の喜びで一杯です。感謝される大人を目指し、本校の551名の児童への教育活動に精進していきます。ありがとうございました。



ファミリーマートは「ありがとうの手紙コンテスト」をはじめとするこども支援活動を通じて地域社会とともに次世代育成に取り組めます!

ファミマものづくりアカデミー



ファミリーマートと生徒が、地元の食材を生かした商品と一緒に開発し、地域商品として商品化し、販売するのが「ファミマものづくりアカデミー」です。2010年6月から和歌山大学教育学部附属小学校のこどもたちは、和歌山県が育てあげたご当地スイーツ「わかやまポンチ」を普及させる「和歌山ポンチプロジェクト」に取り組んでいます。地元愛にあふれるこどもたちが、地域の食材を生かし、コンビニスイーツができるまでの行程等を授業の中で学び、コンビニスイーツとしての「わかやまポンチ」を企画しています。商品化された「わかやまポンチ」は、プロジェクトにたずさわったこどもたち自身が店長となるお仕事体験「こども店長」で直接店舗で販売もしました。ファミマものづくりアカデミーは小・中・高・大学生を対象に実施しています。

グローバル防災(災害リスク軽減)教育

自然災害や気候変動に伴う異常気象への備えとして、グローバルでの防災・減災教育を国際NGO セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン(SCJ)と協働で取り組んでいます。タイ、ベトナム、インドネシアの3カ国でコミュニティや学校を通じて、こどもたちが災害時の適応能力を高め、リスクへの対応能力を向上させることを目的に、教育研修、学校の授業での生徒への啓発活動、防災マニュアルの開発、着衣水泳等それぞれの国のニーズにこたえる支援を行っています。

※この活動は店頭募金「グローバルこども募金」によりSCJと協働で実施しています。



グローバルこども募金

出店している各国・地域のこどもたちを支援することを目的に、店頭で「グローバルこども募金」を実施。お預かりした寄付は、災害からこどもたちの命を守る「災害リスク軽減教育」に用途を限定し、SCJに寄付しています。



森の教室

次世代を担うこどもたちに、日本人が森林と深く関わり生活してきたことや森林がもつさまざまな役割や大切さを伝え教える「森の教室」を、公益社団法人 国土緑化推進機構とともに、保育園、幼稚園を対象に全国約50カ所で行っています。この活動をきっかけに、森を守り、森を育てる活動が各地に広がっています。



出前授業

社員が小・中・高等学校へ出向き、それぞれの職能を活かして「ビジネスモデル」や「環境への取り組み」について講義を行う「出前授業」を実施しています。総合的な学習での「課題解決授業」、「販売接客授業」など、学校からの要請を受けて実施しています。



ベルマーク運動への参加

2008年4月より、ベルマーク運動に参加、全国で発売しているおむすび全品にベルマークを付けて販売しています。また、店頭には回収BOXを設置し地元の小学校に店長がお届けしています。現在は被災地域支援として店頭、本社、食品工場に寄せられたベルマークを東北の小学校にお届けしています。



こども店長

2009年より、コンビニエンスストアのお仕事体験にチャレンジする「こども店長」を実施しています。ファミリーマートのユニホームに身を包んだ、かわいい「こども店長」が登場。お店のスタッフから商品の並べ方や、レジでのお客さま対応などを教わりながら、ファミリーマートの仕事を体験していただいています。参加したこどもたちからは、「少し緊張したけれど、たくさん買ってもらえてすごく楽しかった」保護者の方からは、「働くことの楽しさと大変さをしっかり学んでもらえた」と好評をいただいています。



ファミリーマート夢の掛け橋募金

1993年にコンビニエンスストアとして初めて店頭で募金箱を設置。2006年からは、世界のこどもたちと地球の未来のために活動を行うNPO/NGOに寄付を行い、支援する「夢の掛け橋募金」として実施しています。募金していただいたお客さまと社会的な活動を行うNPO/NGOとの掛け橋として、寄せられた募金にファミリーマートのマッチング募金を合わせて4団体に寄付しています。

- 寄付先
- 特定非営利活動法人 国連WFP協会
 - 公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
 - TOMODACHIイニシアチブ
 - 公益社団法人 国土緑化推進機構



セーフティステーション

地域社会の安全・安心を提供する安心拠点。
地域社会と一体となって、こどもたちを見守っています。